

平成28年度 第3回伊勢崎市総合教育会議 議事録

会議の名称	平成28年度 第3回総合教育会議
開催日時	平成29年2月14日（火）午前10時00分～午前11時00分
開催場所	伊勢崎市役所本館5階職員研修室
出席者氏名	<p>【委員】 五十嵐清隆市長、萩原裕子教育委員長、大矢光利教育委員長職務代行者、 宮川亮子教育委員、高橋慶一教育委員、徳江基行教育長</p> <p>【事務局】 （企画部）福田企画部長、千吉良企画部副部長、新井企画調整課長、 高柳企画調整課係長、栗原企画調整課主査、 高橋企画調整課主任 （経済部）渡邊文化観光課長 （教育部）萩原教育部長、村井教育部副部長、細井教育部総務課長、 井野図書館課長、福田文化財保護課長、境野文化財保護課係長、 早川文化財保護課係長、田部井教育部総務課係長、 阿左美教育部総務課主査、金井教育部総務課主事</p>
傍聴人数	1人
会議の議題	報告事項（1）文化財の現状と課題について 協議事項（1）文化財の保存と活用のあり方について
会議資料の内容	<p>【資料1】主な指定文化財一覧表 【資料2】保護保存・整備活用が必要な主な文化財 【資料3】文化財の課題について</p>

1 開会 [企画部長]

2 市長あいさつ

総合教育会議では、伊勢崎市教育振興施策の大綱の3つの基本方針に基づき、学校教育分野、生涯学習分野、歴史・文化分野の中から、ご議論いただいております。今回は、歴史・文化分野から文化財の活用等について、ご議論をお願いします。

3 教育委員長あいさつ

子どもから大人まで市民一人ひとりが郷土に愛着や誇りを持って、個性を活かしながら輝けるようなまちづくりを進めていただき、ありがたく感じています。本日は、さまざまな方面から意見を出ささせていただければと思います。

4 署名委員の指名 [市長]

本会議では、議事録作成の際に、議長及び委員1名に、その内容を確認したことへの署名をいただくこととなっています。今回はその署名を宮川委員をお願いします。

5 報告事項

(1) 文化財の現状と課題について【資料1～3】

[文化観光課長・文化財保護課長]

～資料に基づき説明～

【質問・意見等】

～協議事項で意見を伺うことを説明～ [市長]

6 協議事項

(1) 文化財の保存と活用のあり方について

【質問・意見等】

- ・伊勢崎市には多くの文化財があるため、選択と集中により、優先順位を付けた保存、活用を行いたい、また、その優先順位を近世の建物としたいと考えています。この考え方や、今後、文化財をどのように活用すればよいかについてご意見をいただければと考えています。 [教育長]
- ・先日、教育委員全員で森村家住宅の一般開放に併せて視察をしました。森村家住宅は、文化財としての風格を残したまま、耐震など安全面を考慮し、美術館として活用できれば素晴らしいと感じました。 [萩原委員]
- 国指定史跡について、市の判断ではスロープの設置や耐震工事などの改築や改造はできないと思いますが、市指定史跡はどのようになっているのでしょうか。 [市長]
- 専門知識を有する学識有識者を入れた専門委員会を設置し、その中で検討していくことが必要です。 [文化財保護課長]
- ・赤堀地区では、本間家という貴重な建物を失っていますので、これらの貴重な文化財は後世に残して欲しいと感じます。また、耐震改修などをする際には、出来る限り復元してほしいと思います。 [大矢委員]
- ・伊勢崎市の歴史や当時の生活など、さまざまなものを学べる数少ない文化財なので、改修の際には現状を維持できるようにしていただきたいと思います。また、活用に関しては、他市の優良事例を参考にして活用していく必要があると思います。 [宮川委員]
- ・森村西三さんや金井烏洲さんなど、本市に関係が深い文化人を、文化財と上手く繋げることが出来ないかと考えています。 [高橋委員]
- ・田島弥平旧宅の注目度は世界遺産登録当時から比べると下がる一方であると感じます。その対策として、旧境島小学校を歴史資料館のようにして、

市内の子どもが集まれるようにすることにより、ふるさと学習などの場として、今後の活用が期待できるものになると考えています。〔大矢委員〕

→旧境島小学校については、地域住民の意向を尊重しながら活用していきたいと考えています。また、世界遺産としては、建物だけをPRしていくのではなく、日本の近代化を進める原動力になったという時代背景や、養蚕技術の確立という歴史をからめて、歴史観を発信していきたいと思っています。〔市長〕

→旧境島小学校については、明治12年頃に発行された物理学や科学、生物学の書籍があり、現代の内容と同じことが書かれており、興味深いと感じました。現在は、地域の人と協力しながら、それらの記録をデータ化しながら、保存について検討しています。〔教育長〕

- ・今後のことも考えて、文化財を映像などのデータで残すことも必要だと考えます。〔高橋委員〕
- ・近世のもので文化財として指定されているものを中心に活用していくという考え方については、よろしいでしょうか。〔教育長〕

⇒一同賛成

- ・黒羽内科医院旧館（いせさき明治館）の今後の活用予定はありますか。〔高橋委員〕

→いせさき銘仙のPR展をしていますが、館内では人の収容人数に限界があるため、ふるさと学習などの機会を活用し、外でもPRするような活動に取り組んでいます。〔文化観光課長〕

- ・今後も、子どもから大人までが、歴史や文化に触れることが出来る環境を維持してほしいと感じます。〔萩原委員〕
- ・伊勢崎市に来ていただいた観光客に満足していただけるように、今後も一つひとつの文化財を大切にしながら、横の繋がりを大事にしてほしいと感じました。〔宮川委員〕

⇒文化財の保存と活用のあり方については、教育委員会と市長部局がより連携して、市全体として総合的に取り組んでいかなければならない課題であると考えております。今後とも文化財の保存・活用を効果的に実施していくため、教育委員会と連携して、取り組んでまいりたいと考えています。〔市長〕

7 その他 (特になし)

8 閉会〔企画部長〕

本年度の総合教育会議は、本日の第3回を持ちまして、緊急な場合を除き、終了となります。日程などにつきましては、またあらためて、お知らせさせていただきます。